



千地申第14号

組合員の不安をなくし、安全に業務を担うための 申し入れに関する団体交渉を行う！①

1、各駅で実施される乗降終了合図の見直しの根拠を明らかにすること。また、輸送障害や繁忙期などのホーム混雑時、乗務員より要請があればすぐに乗降終了合図の対応ができる体制とすること。

【会社回答】

乗降終了合図については、お客さまのご利用状況等を踏まえ見直すこととした。なお、輸送障害時等については、これまでどおり駅等総体で対応することとなる。

■会社の提案の考え方

組合：これまで乗降終了合図を見直す際には、労使で安全上問題ないか検証をし、実施してきた経過がある。しかし、今回は組合に提案もなく実施するのは何故か？

会社：今回の見直しでは、現時点では標準数の変更がない。

組合：標準数の変更はないが、ホーム業務という労働条件の変更にも関わるものであると思うが？

会社：労働条件の変更とは、基本的には勤務種別がどう変わるのかがポイントである。

組合：合図の見直しは安全に関わることであり、提案を受けて労使で議論すべきと考えるがどうか？

会社：提案はこれまでと同じように標準数の変更に伴って行う。



■施策実施にあたって

組合：今回、線区により実施時期がずれているが、当初からこの計画だったのか？

会社：期限を決めて調整を進めてきたが、津田沼や船橋など一部箇所の見直しなどもあり、調整が難航した。

組合：営業部と運輸部で調整が出来てから、現場に下ろすべきではないか？現場では主幹同士の連携がうまくいっていないという認識である。これでは、今後の「更なる柔軟な働き方」の施策が成功するとは思えない。

会社：6月実施に向けてきたところに、様々な駅の特情を見て調整を行うなど、色々と調整が入ったため、実施時期がずれ込んだ。

■合図の見直しを行う根拠について

組合：今回の見直しを実施することで、安全が担保される根拠とはなにか？

会社：お客さまのご利用が減っているので問題ないと判断した。車掌のITVにおいても、高解像型やワイド型を導入していくので、合図の見直しは可能だと判断した。

組合：今後ワクチン接種等が進み、お客さまが増えてくると思われるが、状況によって合図を再び実施することは考えているのか？

会社：劇的な変化があれば、状況に応じて対応していく。現状ではお客さまが戻ることは考えにくい。

■乗務員からの不安の声について

確認！

組合：乗務員や指導員からは、合図の見直しに対して不安の声が上がっている。現場との意見交換は行っているのか？

会社：指導員も含めて意見交換をしている。不安の声については、指導員から聞いたりしているが、安全も確保できるという判断だ。

組合：支社と現場の認識に乖離がある。それでは施策は上手くいかない。それを埋める努力はしているのか？

会社：車掌は技量があつてドア扱いをしている。合図がなくてもITVでお客さまの乗降を確認し、時間を置いてドア扱いを行うことはできる。

組合：それではなぜ合図を出していたのか？納得感が無い！

会社：お客さまのご利用が減っているので見直すのと、他支社も見直しているから判断した。

安全軽視ではないか！

■ライフサイクル深度化の施策との整合性について

組合：お客さまのご利用状況はあるが、ライフサイクルはどうなるのか？

会社：ライフサイクルの業務は、ホームに出て合図を出すだけではなく、輸送の知識を駅の若手に教え、駅の安全性向上などの業務などもある。不安や疑問についてはこれから考えていく。

■施策実施後のホーム上の体制について

組合：施策実施後のホーム上の体制はどのようにしていくのか？

会社：ホーム上にはテンポラリースタッフを配置していく。社員は駅の判断になるが、ホーム事務室や駅事務室にいて、ホームの巡回等を行う。

組合：乗務員から合図の要請があれば、速やかに対応ができる体制は取っていくということでしょうか？

会社：そうだ。体制は取っていく。

確認！

その②へ



千地申第14号

組合員の不安をなくし、安全に業務を担うための 申し入れに関する団体交渉を行う！②

2、乗降終了合図の見直しによる乗務員のドア扱いに対する不安を解消すると共に、ドア扱いによるトラブルが発生した場合はしっかりと原因を究明し対策を講じること。

【会社回答】

必要な教育等は実施しているところであり、今後も安全の確保に努めていく考えである。

■設備面について

組合：乗務員の不安を解消する取り組みについて伺いたい。

会社：取り組みに関しては、ITVやホームドアなどの現行の設備で、ハード面の不安を解消している。いま財政状況がきびしいが、ITVを順次高解像型、ワイド型にしていく。

組合：浅草橋のA線はITVが見えにくく、ホームドアが設置されて、目視でもより見づらくなった。早急に検討して欲しい。

会社：意見があればこちらにも上申していく。

組合：設備が見直しになる駅はどこか？

会社：ITVは老朽取り替えに合わせて更新するので、具体的にどこの駅というものは無い。見直しをすることは難しいが、困ったことがあれば日報に書いて欲しい。まずは声を上げてほしい。

組合：ホームドアの設置の計画はどうなっているのか？

会社：今年度は下総中山に設置していく。それ以外の駅は自治体との協議があるので、まだ決まっていない。

組合：実行計画等で謳われている駅設備で撤去していくものは決まっているのか？

会社：メンテナンス費用の軽減のため、ホーム上の時刻表や照明などの見直しを行う。それぞれの駅ごとに検討してもらっている。

■ソフト面について

組合：現場では一方的な議論ではなく、コミュニケーションを取ってもらいたい。乗務員と指導員でお互いのすり合わせがあれば、納得感も違う。納得感があって乗務するのと、ない状態で乗務するのでは、大きく変わってくる。また、新人車掌はコロナ以前の混雑状況を知らない。その状態で合図がなくなることに対して不安があり、混雑状況に対する価値観が違うので、判断の材料にしないといけない。

会社：不安は人それぞれあるので、完全に解消するのは難しいところであるが、しっかりと不安解消に向けてコミュニケーションを取っていききたい。

組合：キャリアの差もあるので、ゼロにならない。事象も発生するが、その際はその人の責任追求ではなく、背景を捉えた原因究明をするべきだ。

会社：今までと変わらない。事象が発生したら、原因究明をするために速やかに正しい報告をしてほしい。

3、安全上問題等が生じた際は、労使で協議すること。

【会社回答】

具体的な提起がある場合は「労使間の取り扱いに関する協約（平成30年10月1日締結）」に則り取り扱っていく考えである。

組合：私たちも職場と共に、ホーム上の安全などに対し検証を行っていく。その中で問題等があれば、申し入れさせていただく。その際は労使で議論して解決を図っていききたい。

会社：議論していくことは否定するつもりはない。これまでどおり変わらない。

施策実施後も、職場と共にホーム上の安全や乗務員の不安解消について、検証を行います。
安全・健康・ゆとり・働きがい担保された労働環境にしていきたいと思います！